

住んでよかった、住み続けたいまちを目指して あなたも播磨ゆめづくり塾で活動しませんか？



まちづくりの研究活動を行う「播磨ゆめづくり塾」のほど、5人の塾長と塾名が決まり、一緒に楽しみながら活動してくれる仲間を募集しています。希望の塾、あなたの住所、氏名、電話番号をお知らせください。塾長より連絡させていただきます。

*平成16年度の塾活動報告書が役場情報コーナー・公民館・各コミセン・図書館にありますので、参考に「ご覧ください」。播磨町のホームページでも公開しています。

アドレス <http://www.town.harima.hyogo.jp>

▼申し込み・問い合わせ 企画調整課 ☎0794(35)0356



文化ネットワークはりま塾

塾長 木村 勝

私たちの塾は昨年、コンサート中心に塾活動をしてきました。その中で今まで地域であまり活動していなかった人に数多く参加していただきました。

そんな人たちの地域デビューのきっかけづくりのお手伝いができればと考えています。親子参加のイベントでお母さんお父さんの、また、おじさんやお兄さんのバンドコンサートで地域のつながり感動体験ができれば。

子育てを終えられたお母さん、定年間際のお父さん！ 地域活動に参加しませんか。地域デビューの講演会なども企画しているところです。

さらに、塾生を中心にした「地域通貨」の試みを進めています。昔あった地域の支え合いを再認識したいと考えます。

募集人員・条件など

地域づくり、人のつながり、感動体験、地域デビューに少しでも興味をお持ちのあなた、参加しませんか。お待ちしております。一緒に楽しみましょう。



バリアフリー塾

塾長 山根 忠

昨年、「楽しみ隊」には、サークルなど関係者のご協力で40の団体と個人の登録をいただきました。利用者と登録者間で調整し、芸を観て楽しむ人と特技を披露する喜びを得る人とが出会えるようになりました。

今年は、在宅介護の時代に応える「役立ち隊」の取り組みを進めたいと考えています。

ガンなどでの在宅療養生活・高齢者や障害者の在宅介護の中で生じるたくさんのバリアについて、介護保険法改正で切り捨てられる項目の抽出など、塾で研修を深めています。

私たちは力量不足を研修で補いながら、研修の成果を国・県・町・福祉法人などに「提言」し、実現に向けた活動を進めていきます。

活動範囲が幅広くなりますが、町や公共的団体で取り組めない分野に、研修の重点を置き、たくさんの方の知恵を集めたいものです。

募集人員・条件など

人が24時間安心して生きていく上で、「人手を借りたい」というたくさんの事柄があります。「あなた」の知恵を借りたいのです。

一緒に語り、何かが先に見えればと願ってあなたの参加をお待ちしています。



世代を超えて元帰塾

塾長 長尾 禎則

元帰塾「第3弾」。今年度のテーマは「温故知新」です。ことわざ辞典によりますと「過去のことをよく研究して、そこから改めて新しい知識や意義を見つけ出すこと」と書かれています。基は論語から来た四字熟語です。

今回は、

- ①食文化の伝承教室（豆腐、味噌、うどん、そば他）
- ②漢字のおもしろ教室（漢字検定試験へ向けて）
- ③3種類の竹とんぼ教室（親子でチャレンジ、大会あり）
- ④「阿閉」の地名の研究、広報（研究会あり）

キーワードは「親子の絆」です。今、我々が大切にしなければならぬことは「温故知新」、つまり「古きをたずねて新しきを知る」ことではないでしょうか。

募集人員、条件など

年齢、性別は問いません。一緒に楽しみませんか。



キャストはりま塾

塾長 福原 隆泰

住民参画型のゆめ・まちづくりを掲げた実践活動も今年で丸3年になりました。

『住みよい町』の実現に向けて、次の4つを柱にビジョンをもって取り組んでいます。

- ①『ステキだなあ、播磨町』
- ②『楽しいなあ、播磨町』
- ③『飾ろうよ、播磨町』
- ④『あったかいなあ、播磨町』

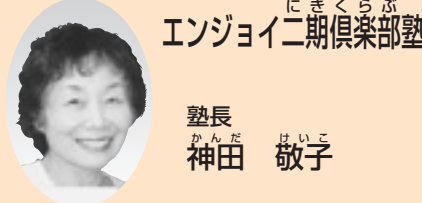
具体的には…

播磨町には魅力ある資源がたくさんあります。「地域資源発見」と題してため池博覧会と連携した新井用水路をたどるエコ・ツーリズムをはじめ、様々なイベントを開催したり、ため池を核とした新しいコミュニティづくりをサポートします。ニュースポーツや地域通貨『LETS阿閉』（レッツあえ）を取り入れ、遊びを通したプロモーションイベントや縁日を計画しています。

さらに、まち並に彩りと潤いを添え、やすらぎを演出するために緑化活動にも取り組みます。

募集人員、条件など

地域の活動に「何かしたいんだけど何から手をつけていいやら…」などとお考えの方、一緒に活動しませんか。年齢や性別は問いません。



エンジョイニキ倶楽部塾

塾長 神田 敬子

播磨町でも高齢化が進んでいます。医療費、被介護者、寝たきり老人の増加、老人クラブ数の減少などいろいろな問題を生じています。

今、地域には、高齢者をはじめ、スポーツや文化活動などになじめない多くの人たちがいます。これらの人たちは、次第に家に閉じこもり、心を閉ざし、やがて心身ともに病んでいくことが恐れられています。

そこで、これらの人たちに楽しい「元気を出そう、ふれあい健康づくり」運動を呼び掛けたいと思います。軽スポーツ大会、講演会などを開催し、グループで体験、研修し、楽しい活動にしたいと思っています。

そして、シルバーパワーがまちづくりに何ができるかも考え、実践し、挑戦してみたいと思っています。

一緒に活動してみませんか。

募集人員、条件など

どなたでも。リタイアされた方が中心のような塾ですが、今後のために若い人も大歓迎。

平成16年度

塾活動の報告

わくわく人権塾

塾長 塚崎 猛さん

「人権感覚豊かなまちづくり」「現代社会における人権問題について学ぶ」をテーマに、フィルムフォーラムの開催・播磨協研究大会での人権朗読劇などに取り組みました。

キャストはりま塾

塾長 福原 隆泰さん

住民の参画と行政との協働によるまちづくりの実践活動として、花で彩るまちづくり・地域資源の豊かな水辺を生かしたまちづくり・地域通貨に関する研究調査などに取り組みました。

3世代を紡ぐ元帰塾

塾長 長尾 禎則さん

「3世代を通して古き良き日本文化を見直す」をテーマに、歌い継いで欲しい歌のコンサート・歌い継いで欲しい竹とんぼ作り（肥後守の使用）

バリアフリー塾

塾長 山根 忠さん

「行政が進める福祉施策で、手の届かない部分のバリアを取り除く」というテーマで、「楽しみ隊」の結成（記念コンサートの開催）、「役立ち隊」の研究・様々なバリアについての講演会などに取り組みました。

文化ネットワークはりま塾

塾長 木村 勝さん

「文化を通してまちづくり」をテーマに、障害者の乗船体験・ジャズコンサート・地域通貨の研究調査などに取り組みました。

